



2014 恩納村村勢要覧
[2017年改定版]

〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
TEL.098-966-1200(代) FAX.098-966-2779

Onna Village Office
2451 Aza Onna, Onna-son, Kunigami-gun,
Okinawa Prefecture



青と緑が織りなす活気あふれる村

恩納村

2014 恩納村村勢要覧[2017年改定版]

O



2014
恩納村村勢要覧
[2017年改定版]

N

N

A

青と緑が織りなす活気あふれる村

彩々
おんな
Harmony of Blue and Green



青と緑が織りなす活気あふれる恩納村



恩納村村長
長浜 善巳

— 我した恩納村 青緑清らさ 肝心据えて文化(花)ゆ咲かさ —

琉球の三山統一期に山田城を居城として活躍した護佐丸、琉歌の里恩納村が生んだ有名な女流歌人・恩納ナビーと吉屋チルーなど、琉球王府時代から恩納間切りとして今日まで、村の形態や豊かな自然と人情あふれる姿は変わることなく歩み続けております。

恩納村の発展と目覚ましい進展は、先人たちのたゆまぬ努力により築き上げられたものであり、観光リゾート村としての地域経済発展と豊かな村民生活の向上をもたらしてきました。

これらの状況を踏まえ、今日まで本村が築き上げてきた取り組みを礎に歴史・文化と村民の絆を育むとともに、観光リゾートや沖縄科学技術大学院大学との国際的な交流を推進し、教育・福祉などの更なる充実を図ってまいります。

そして、子どもからお年寄りまで村民一人ひとりが快適に安全で安心して暮らせる環境が整備された住みよい村づくりを推進してまいります。

この村勢要覧は恩納村の現状と未来への展望を広く県内外へ紹介するために発刊いたしました。多くの方々にご覧いただき、恩納村へのご理解と愛着への一助としていただければ幸いに存じます。

Onna Village – A Dynamic Community Symbolized by the Blue and Green of its Nature

Onna Village's abundant nature and friendly populace have remained largely unchanged from the Ryukyu Kingdom Era to its current municipal form today. During this time, Onna Village has been home to Gosamaru, a Ryukyuan lord of Yamada Castle during the Sanzan era (1322 to 1429), and known as a center of Ryukyuan music, having produced notable female singers including Unna Nabi and Yoshiya Chiru.

Onna Village's development and remarkable progress can be attributed to the collective dedication and hard work of its forefathers and these efforts are what have enabled our village to contribute to the regional economy as a tourism resort village and provide a more enriching lifestyle to residents.

Given this, we are committed to building bonds between our history, culture and residents based on the initiatives established by the village thus far. We are also promoting international exchange through tourism resorts and the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University. Our other goal is to further enriching our education and welfare programs.

Onna Village is dedicated to the development of a positive and comfortable living environment that provides safety and peace of mind to each and every resident, from children to the elderly.

This brochure about Onna Village was published to highlight the current happenings in our community and our future aspirations to a wide audience both in Okinawa Prefecture and around the world. It is my sincere hope that many readers are able to develop a deeper understanding and affinity for Onna Village through this brochure.

Yoshimi Nagahama Mayor Onna Village

輝く自然、薫る文



ONNA VILLAGE

CONTENTS

- 10 伝承芸の技
- 12 うんなまつり・産業まつり
- 14 村産品
- 16 ONNA Gallery
- 18 イラストマップ



04 【特集1】おんなサンセット海道

歴史散策

06 【特集2】国頭方西海道

08 【特集3】未来を切り開く道

— 沖縄科学技術大学院大学 —

- 22 村づくりの基本理念
- 24 観光業
- 26 商業・製造業の振興
- 28 農業の振興
- 29 水産業の振興
- 30 教育・文化
- 32 保健・医療・福祉
- 34 環境
- 36 防災・交流事業
- 38 議会・行政
- 40 字紹介
- 42 村章・村木・村花



表紙について
琉球を代表する女流歌人、恩納ナビーと恩納村の観光名所万座毛を版画タッチで表現しています。

2014年恩納村・村勢要覧
[2017年改定版]
編集 恩納村役場
発行 恩納村役場
〒904-0492
沖縄県国頭郡恩納村
字恩納2451番地
TEL 098-966-1200
www.vill.onna.okinawa.jp/



恩納村役場モバイルページへはQRコードからか、下記のURLを携帯へ送信してご覧下さい。

化、息づく営み

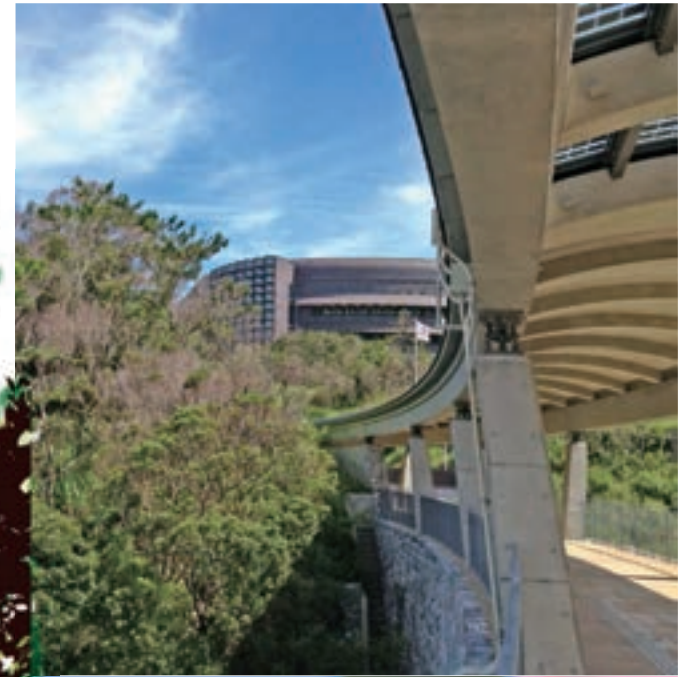




【特 集】

彩々

*Harmony
of
Blue and Green*



無数の青をたたえるサンゴ礁の海に、
 リーフの波が描く白い縁取り
 まぶしいスカイブルーの空に
 もくもくと湧き上がる雲の白
 山々は一年を通じて豊かな緑におおわれ
 ユウナ、ハイビスカス、ブーゲンビリア
 赤や黄色、色とりどりの花々が、村中に咲き誇る
 恩納岳に上る朝日は黄金に輝き、
 夕陽は空と海を真紅に染めて、
 やがて夜空に星々がまたたき、
 月の明りが、フクギの葉をしずかに照らす
 恩納村を彩る色の数々
 七色では描きつくせない世界がここにあります。

The infinite blues of the coral ocean contrasted by the
 Sharp white of the breaking waves;
 The bright blue sky dotted with
 Fluffy clouds of white;
 Mountains covered in lush green year-round;
 The village covered in colorful red and yellow blooms of
 Beach hibiscus, Hibiscus and Bougainvillea;
 The golden hues of sunrise over Mount Onna;
 The brilliant reds of the sky and sea at sunset;
 The dazzling starry night sky;
 The moonlight quietly shining on the leaves of happiness trees;
 These are the colors of Onna Village; and
 These seven colors are unlike any other on our planet.

むかし
いま
みらい
おんなのみち

おんな





【特集①】

Onna Sunset Coast Road

おんなサンセット海道

リゾート、ビーチ、夕日、个性的なお店…。
いま、恩納村の魅力を再発信する地域おこしが始まった。

長く親しまれてきたドライビングコース

恩納村の海岸沿いを南北へ走る国道58号。その昔、琉球王国時代には首里と地方を結ぶ宿道(主要街道)の一つである「国頭方西海道」が、ほぼ同じルートを通っていました。この道を通じて人、モノ、情報、文化などが行き来し、王府と地方の交流が進んだのです。

明治以降は「国頭街道」として整備が進められ、荷馬車と客馬車が通れるようになりました。恩納村は、名護と嘉手納の中間地点に位置していたことから、両地点までの客馬車が運行していたといえます。

戦後、国頭街道は米軍統治下でHighway No.1として整備され、琉球政府発足後は琉球政府道1号線に認定、復帰と同時に

一般国道58号に指定されました。

恩納村内の国道58号は、沖縄海岸国定公園に指定されている美しい海岸線沿いを走っています。車窓からの風景は、沖縄特有の隆起石灰岩の海蝕崖と白い砂浜、サンゴ礁の海という変化に富んでおり、海に沈む夕日を望むことができる人気のドライブコースとして親しまれてきました。

近年、恩納南バイパスと恩納北バイパスが開通すると、海岸線走る国道58号の交通量は減少、沿道の商業施設では売上が2～3割落ちたところもありました。

そのような中、サンセット海道の眺望や沿道に構える個性的な店や施設等の魅力を発信し、かつての賑いを取り戻そうという取り組みが始まったのです。

A Long-enjoyed Coastal Driving Route

National Route 58, which passes through Onna Village, runs along the beautiful coast of Okinawa Kaigan Quasi-National Park. The view along the way is filled with changing scenery, from Okinawa's unique up thrusting limestone sea cliffs and white sandy beaches to the blue coral sea. This route is also popular for watching the sun set over the ocean.

With the opening of the Onna Minami and Onna Kita bypasses in recent years the amount of traffic on National Route 58 has decreased and some stores along the road have suffered a 20 to 30 percent drop in sales.

Onna Village has launched an initiative to recapture the past glory of this route by widely appealing the majestic coastal scenery, beautiful sunsets and unique stores and facilities.



写真／真栄田岬の夕景



特集 ②

王府時代の海道をたどる 歴史散策 Historical Walk along the Kunigamiho Seikaido Road

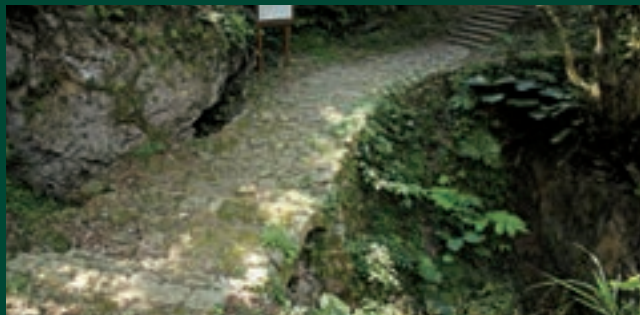
国頭方西海道

琉球王朝時代(1429～1879)には、王府があった首里と各間切の番所をつなぐ主要道「宿道」が作られました。首里を起点に「国頭方」「中頭方」「島尻方」などのルートがありましたが、その中で首里から浦添を経て読谷、恩納、名護、今帰仁と沖縄本島西側を通る宿道は「国頭方西海道」と呼ばれています。

このうち、恩納村では保存状態のよい仲泊の一里塚から真栄田の御待毛までの間が「歴史の道」として整備されています。道の周辺には「山田城跡」「護佐丸の父祖の墓」「フェーレー岩」「真栄田の一里塚」など多くの史跡が点在しており、気軽に歴史散策が楽しめます。

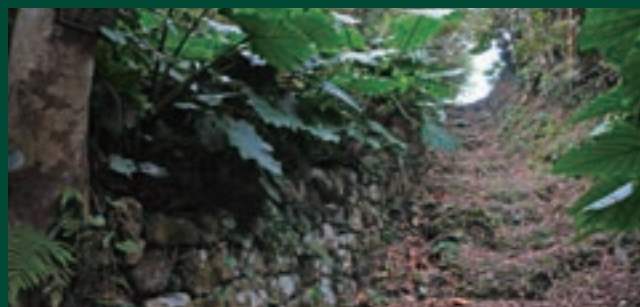
① 仲泊の一里塚

宿道には一里(約4km)ごとに塚が築かれ、距離の目安とされました。仲泊の一里塚は自然の丘を利用した塚で、ここから一里先に真栄田の一里塚があります。一里区間を示す2つの一里塚が残っているのは恩納村だけで、貴重な文化財になっています。



③ 山田谷川の石砦

山田グスクの北側崖下を流れる谷川に架けられた石造りの橋。琉球石灰岩野面積みの桁部分は、中央部がせりあがった独特のアーチ型になっています。山手側の奥には近年まで沐浴場として利用されたといわれています。



② 仲泊遺跡

4つの貝塚と洞窟内遺跡(約3,500年～1,500年前)、比屋根坂石畳道からなる遺跡。石畳道を登った台地はイユミバンタ(魚の群れを確認するための高台)と呼ばれています。比屋根坂石畳道は1909年の薩摩の進攻時に琉球王府軍が戦った古戦場とも伝えられています。

④ 山田グスク

山田按司の居城といわれているグスク。3代目按司の護佐丸は、尚巴志の三山統一に貢献しました。護佐丸は1416年、尚巴志の命で北山討伐を成し遂げた後に、座喜味に居城を築きますが、その際、山田グスクの石垣を手渡しで運ばせたと伝えられています。



⑤ 護佐丸父祖の墓

代々山田グスクの主とされてきた護佐丸の祖先の墓。石灰岩洞穴を利用して作られた墓には、1740年に修理したときの石碑が完全な形で残っています。

⑥ フェーレー岩

この辺りはかつて樹木が生い茂り、昼間でも薄暗い山道で、昔はフェーレー(山賊)が出没すると言われていました。フェーレー岩とよばれる岩の上から通行する人の荷物をかぎ針などで吊りあげて奪ったという伝説が残っています。



⑦ 真栄田の一里塚

土と炭を混ぜて人工的に作られた土塚で、かつてその上には琉球松などが植えられていました。仲泊の一里塚から真栄田の一里塚までちょうど一里(約4km)あります。

⑧ 真栄田の御待毛

琉球王国時代、国王や上級役人が地方を巡る時には、道沿いの村人が集められて荷役をしました。このような人々が国王や役人を迎えるときに使われた広場を御待毛と呼んでいます。

Tracing a Road of the Ryukyu Kingdom Period

During the Ryukyu Kingdom Period (1429 to 1879), major roads called shukumichi were built to connect Shuri, the palace of the Ryukyu Kingdom, with the guardhouse, or bansho, of each hamlet. Various roads were constructed that began at Shuri, including Kunigamiho, Nakagamiho, and Shimajiriho. The road that ran along the western side of the main island of Okinawa was called Kunigamiho Seikaido, and it spanned from Shuri through Urasoe to Yomitan, Onna, Nago and Nakijin.

In Onna Village, the well preserved portion of this road between the ichirizuka road marker at Nakadomari to the Umachimo plaza at Maeda has been redeveloped as a historical trail. The area is dotted with a number of walkable historical sites, including the ruins of Yamada Castle, the tomb of Gosamaru's ancestors, the Fere Rock and the Maeda ichirizuka road marker.

フェーレー岩の伝説

昔、多幸山は国頭方西海道のけわしい山道でした。その道の途中に「石くびり」というところがあり、大岩が両側にそばだっていました。その岩がフェーレー(山賊)が出没したという伝説の場所で、フェーレー岩と呼ばれていました。フェーレーは岩の上から、先にかぎ針をつけた長いさおで、下の道を通る旅

人の頭に載せた荷をひったくったといいます。困った王府は、一人の女性に大きく重い石を風呂敷につつんで頭上に載せてもらい日暮れ時にフェーレー岩の横を通らせることにしました。女性を見つけたフェーレーはかぎ針で風呂敷包みをひっぱり上げようとしたのですが、中の石の重みにひっぱりだされて岩上から落ちてしまいました。そこへ隠れていた役人が出てきて捕まえたということです。



OIST

未来を切り拓く道

OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY



【特集③】

Best in the World
Flexible
International
Global Networking
Collaboration with Industry

沖縄科学技術大学院大学

「世界最高水準の科学技術の研究・教育」を目指す沖縄科学技術大学院大学(以下OISTと略)が2012年9月、恩納村谷茶に開学しました。沖縄だけでなく、日本、そして世界の、未来への道を切り開く科学技術の核となるべく、期待と注目を集めています。

世界をつなぐ科学技術の研究拠点

OISTは2001年に内閣府が設置を提唱し、準備期間を経て2011年11月、文部科学省により設置が認可されました。第1期生は世界18ヵ国・地域の34人で、日本を含むアジア、米国、欧州、アフリカ・中東と、広範囲にわたっています。大学の公用語は英語で、約360人の教員・研究者のうち外国人は170人。学部は設けず、学際的な研究に力を入れるなど、従来の日本の大学にはない試みは国内外の注目を集めています。

元来沖縄は、日本のみならず中国、東南アジアの各国を繋ぐ中継貿易によって独自の文化を形成してきました。OISTはこのような沖縄の文化的、地理的な特徴を活かしてアジアのみならず世界をつなぐ21世紀の新たな学問の中心拠点として発展していくことが期待され設立されました。特に、基礎研究に力を入れ次世

代の技術を担う研究の発展、研究者の育成を理念としています。

恩納村谷茶の小高い丘の斜面に広がるOISTの広大なキャンパスは、豊かな自然の緑に包まれています。平日の9時から17時まででは一般の自由見学が可能です。キャンパスに入るには、長いトンネルを抜け、そこからエレベーターで向かいます。エレベーターから臨む東シナ海はマリンブルーのとても澄んだ色をしており、見る者の心をいやしてくれます。

周辺の自然環境に最大限の配慮がなされたキャンパスは美しく、電子顕微鏡やDNA配列の解析装置などの設備もハイレベルです。物理や生命科学など5つの分野で研究が行われており、沖縄にも関係が深いサンゴの全ゲノム解読など世界的な成果も出ています。



沖縄科学技術大学院大学キャンパスの眺望(OIST/ギンター)



細胞がウイルスに感染する様子を映像化するOIST研究者たち(OIST/ギンター)



バクテリアが廃棄物を分解して発電するプロセスを利用し微生物燃料電池を開発する(OIST/ギンター)

地域に開かれたOIST

OISTは開かれた大学として、地域の人々に、科学のおもしろさや、最先端の研究現場の実情なども積極的に伝えています。

年に1回行われているオープンキャンパスでは施設を一般公開し、OISTの研究活動についてわかりやすく紹介しています。

OISTの教員や理事会メンバーが沖縄の生徒を対象に研究の紹介や科学者の生活などについて出前授業を行っているほか、キャンパスでの授業も行っており、ノーベル賞受賞の科学者による学生向けのサイエンス・トークなども開催しています。

また、職員や学生が恩納村のエイサーやハーリー競漕などに参加して地域との交流会も実施しています。



うんなまつりに参加するOISTの学生

International Research Hub of Science and Technology

The Cabinet Office advocated for the establishment of the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST) in 2001 and after a preparatory period the facility was established in November 2011 and opened to students in September 2012. The first class of students comprised 34 individuals from 18 different countries, including Japan, the United States, and countries in Asia, Europe, Africa and the Middle East. The university's official language is English and about 170 of the university's 360 instructors and researchers are foreign nationals. The university does not have academic departments because its focus is on multidisciplinary research. This new approach to higher education in Japan has received a great deal of attention both domestically and internationally.

OIST Open to the Community

As a university open to the local community, OIST actively shares the joys of science and provides tours of its cutting edge research facilities to children in Okinawa. In addition, OIST staff and students also take part in Onna Village's Eisa folk dance performances and dragon boat races as part of their interaction with the local community.

こどもたちとOIST—Kids are the world's future scientists.

「こどもかがくきょうしつ」は実験などを体験することで、子どもたちの科学に対する関心を高めることを目的とする夏休み恒例の学習プログラム。OISTの研究者を中心とするボランティアと恩納村の小中学校の先生が共同で、自然観察や実験、ロボットづくりなど、科学についてのさまざまなテーマで5日間にわたって授業を行います。



ロボット作りに挑戦するこどもたち



光の波長について理解する



ウスデーク

祭りの余興芸能として、沖縄本島各地や周辺離島で昔から演じられてきた民俗芸能で、ウシデークともいいます。女性のみで円形になって踊り、農作物の豊穡祈願と感謝を奉納します。恩納村では仲泊、富着、谷茶、恩納、名嘉真の各字で行われています。

Usudeku

Usudeku is a form of entertainment at festivals in which female performers dance in a circle to give thanks for a bountiful harvest. In Onna Village usudeku is performed by each community, including Nakadomari, Fuchaku, Tancha, Onna, and Nakama.

エイサー

エイサーは沖縄の旧盆の最終日(ウークイ)の夜に、精霊の供養のために踊られる民俗芸能で、沖縄本島中部を中心に、県内各地で行われています。

恩納村でも各字の青年会が中心となって、それぞれ独自のエイサーを継承しており、エイサーを通して若者たちに連帯感が生まれ、地域活性化にもつながっています。恩納村のエイサーは、しなやかにゆったりと舞うような振りのパーランクーや手踊りに特徴があります。

Eisa

Eisa is a traditional dance performed to honor ancestors on the final night of Okinawa's Obon Festival. Eisa is performed throughout the Okinawa Prefecture, but mainly in the central part of the main island of Okinawa.

In Onna Village, youth group's from each community have passed down their own unique form of eisa dance, which serves as a sense of solidarity among them and also helps to revitalize the local community.



南の島(フェーヌシマ)

三線の演奏にのせて意味不明な言葉を発しながらおどる棒踊り芸能で、南方系のもとのといわれていますが、詳しいことは分かっていません。仲泊、名嘉真の豊年祭で踊られています。

Fenushima (Island of the South)

The fenushima is a bo odori dance where dancers perform to the sanshin while letting out nonsensical phrases. It is said to have originated from the south, but exact details of its origin remain unknown.

伝承芸の技

Techniques and Soul of Traditional Performing Arts

古えを偲び、伝統を尊ぶ心

豊年祭

旧暦 8 月 10 日前後、1 年間の五穀豊饒に感謝し、来年の豊年を予祝するために行われる伝統行事。各字ごとに、組踊や琉球古典舞踊、雑踊り、獅子舞など様々な芸能が演じられます。これらの芸能は、かつての琉球王府の下で作り上げられたものや、明治以降に庶民に親しみやすいように創作されたものがうまく調和されながら奉納芸能として今日まで伝えられています。

Harvest Festival

The Harvest Festival is a traditional event held around August 10 of the Chinese lunar calendar in order to give thanks to a bountiful harvest of the previous year and to offer wishes for the following year. The festival features performances of kumiodori combination dances, traditional Ryukyuan dance, zo odori dance, and the Chinese lion dance by each village community.



UNNA FESTIVAL



「うんなまつり」は恩納村の夏の一大イベントで、村民をはじめ、村内の各団体、事業所が団結してまつりを盛り上げます。ちびっこカラオケ大会や魚のつかみ獲り大会など、村民参加型のプログラムをはじめ、県内外有名アーティストのコンサートや村内芸能の公演、地域振興鍋、福引抽選会、花火大会など、多彩な催しに村内外から多くの人が集まります。

Unna Festival

The Unna Festival is one of Onna Village's largest summer events and is attended by residents as well as local organizations and businesses. The festival includes many hands on programs, such as a children's karaoke contest and hand-fishing competition. The festival's concerts by musicians from Okinawa Prefecture and other parts of Japan, local performance arts shows, community pot, prize drawings and fireworks display also attract a large number of visitors every year.



Industry Festival

恩納村コミュニティセンター周辺で毎年2月に開かれるイベントで、村の産業振興を目的に、農畜産物、水産物、加工品、お土産品、観光物産などを一堂に展示、即売して村内外に広く紹介します。特に恩納村で栽培が盛んな観葉植物や野菜・果樹、水産加工品などは人気が高く、多くの人出で賑います。

INDUSTRY FESTIVAL

The Industry Festival is held every February in the area around the Onna Village Community Center in order to exhibit and sell agricultural and livestock products, marine products, processed items, souvenirs and tourism-related products to promote the village's industries. The festival is attended by many people, with locally grown ornamental plants, vegetables, fruit and processed seafood the most popular items.



恩納村の主なイベント

3月	ムーンビーチおきなわ全島やちむん市
旧5月4日	前兼久ハーリー
旧7月15日	沖縄県知事杯争奪万座ハーリーフェスティバル
7月	うんなまつり
9月	豊年祭
11月	恩納村文化祭
	琉歌大賞
2月	産業まつり
	子どもフェスティバル



長寿の秘訣 村産逸品

自然を活かし、
文化を活かす。

Specialty Products

恩納村では、豊かな自然環境や独自の風土を活かした、ガラス、泡盛、陶芸などの伝統工芸や亜熱帯果樹などの農産物、さらにもずくやウニなどの海産物を加工して、これらを村産品として販売しています。



泡盛
恩納村唯一の酒造所が、志嘉座川の地下から湧き出る清水を利用して、とりとじて味が濃く、独特の甘味と、喉越しの柔らかな泡盛を作り育てています。その消費量の8割が村内であり、地元で人気のあるお酒です。



琉球泡盛

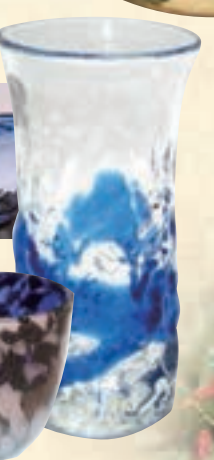


アテモヤ

パッションフルーツ
ビタミンとミネラルがバランス良く含まれている熱帯果実。脂肪の蓄積を防ぎ美しい肌を保つなど特に女性に大人気。また筋肉機能の調整作用や、成長促進の効果が期待されていて、今後注目されるフルーツのひとつです。



ガラス工芸



海産物



海ぶどう
ぶどうのように小さな実がついている恩納村の海で採れる緑色の海藻。口に運ぶと磯の香りが広がり、プチプチとした食感が楽しめます。

モズク
恩納の海で採れる「もずく」はミネラルがたっぷり含まれている自然食品。食べ方は色々で、酢の物や天ぷら、スープや味噌汁の具としても美味しい。

アーサ
「あおさ」という海藻の一つ。海岸の岩にへばりついており、これをひとつひとつ取って水洗いしたものを天日に干して乾燥させて使います。水で戻して味噌汁の具に使ったり、澄まし汁仕立てで美味しくいただけます。



Specialty Products
Onna Village is known for its traditional crafts that take full advantage of its natural environment and unique culture, including glass art, awamori and pottery. The village also has a thriving agricultural industry that grows passion fruit, atemoya, flowers and ornamental plants, and various vegetables. The village also is a processing hub for mozuku seaweed, sea urchin and other marine products.

恩納村の概要

恩納村は沖縄本島のほぼ中央部西海岸側に位置し、北に名護市、東に宜野座村、金武町、うるま市石川地区(旧石川市)、南に沖縄市、読谷村の各市町村と隣接しています。面積は50.87km²で、南北に27.4km、東西に4.2kmと細長い形をしており、うるま市石川地区(旧石川市)と隣接する部分は沖縄本島の東西にもっとも狭い地域にあたります。山間地の喜瀬武原(きせんばる)を除いて、国道58号および県道6号線沿いの海岸線に14の字が点在しています。村の西側は東シナ海に面し、東側は恩納岳を中心に、北から漢那岳、熱田(あつた)岳、ブート岳、屋嘉(やか)岳、石川岳、読谷岳などの山々が連なり、さらにこれらの山々を源とする小さな川が40近くあり、山や川、海などの変化に富んだ豊かな自然が息づいています。

戦前、戦後を通じて半農半漁の静かな村として時を刻んできた恩納村は、本土復帰後開催された国際海洋博覧会を機に大きく変貌しました。サンゴ礁の広がる美しい海岸線が観光資源として注目され、大型のリゾートホテルが競って並び建つようになったのです。

多くの村民が生業としてきた農業・漁業も、時代の流れに伴い大きな様変わりを見せています。農業ではこれまでのサトウキビ栽培に加えて、ランやキクなどの花卉、熱帯果樹、野菜類など多様な作物が栽培されています。漁業も「獲る漁業」だけに頼らず、もずくや海ぶどうなどの養殖漁業が年々成果を上げています。

平成24年9月には沖縄科学技術大学院大学が開学し、国際的な学問の場として海外からも注目されています。今、恩納村では観光と結びついた工芸産業、商業、サービス業などが芽生えてきており、新しい時代へ向けての村づくりが着々とすすんでいます。

肝心据えて 文化(花)ゆ咲かさ

青緑清らさ 我した恩納村

About Onna Village

Onna Village is located at the west coast of the central region of the main island of Okinawa. To the north is Nago City, to the east is Ginoza Village, Kin Town, and the Ishikawa District of Uruma City (formerly Ishikawa City), and to the south is Okinawa City and Yomitan Village. Onna Village has a long, narrow shape extending 27.4 km north to south and just 4.2 km east to west, encompassing a land area of 50.87 km². The area of the village that borders the Ishikawa District of Uruma City (formerly Ishikawa City) is the narrowest part of the main island of Okinawa in terms of east to west distance. Excluding the mountainous area of Kisenbaru, the village has 14 individual communities located on the coast along National Route 58 and Prefectural Route 6. The west side of the village faces the East China Sea and the east side Mount Onna, while to the north is a series of small mountains that include Mount Kanna, Mount Atta, Mount Buto, Mount Yaka, Mount Ishikawa, and Mount Yomitan. There are also close to 40 small rivers originating from these mountains that flow through the area, which provides Onna Village with an abundant and ever-changing natural setting that includes mountains, rivers and ocean.

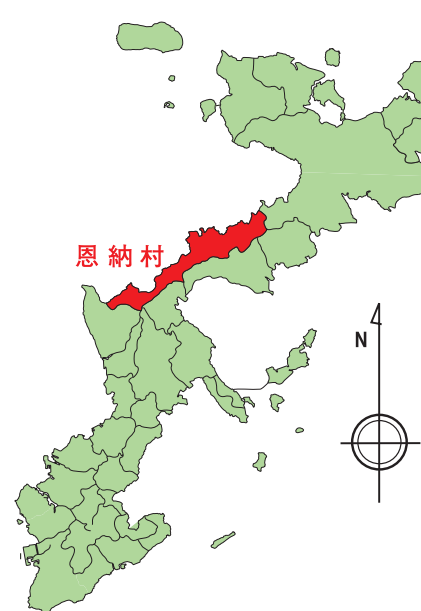
Onna Village was a small farming and fishing village before and after World War II, but it began to greatly transform itself after Ocean Expo '75 was held on the main island of Okinawa following its reversion to Japan. Onna Village's beautiful shoreline, coral reefs and beaches received a great deal of attention as tourism resources and soon a number of large resort hotels were constructed in the village.

Onna Village's main agricultural and fishing industries, where most of its residents have worked, too, have undergone a great deal of change over the years. As for agriculture, in addition to its mainstay crop of sugar cane, the village now grows a wide range of other crops that include flowers and ornamental plants, such as orchids and chrysanthemum, tropical fruits, and vegetables. The village's fishing industry has also expanded from fishing to include such successful aquaculture ventures as mozuku seaweed and sea grapes.

In September 2012, the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University opened in Onna Village and has received international acclaim as a hub for multidisciplinary research. Today, Onna Village is witnessing the birth of new industries linked to tourism, including arts and crafts, commerce and services, which is steadily bringing about a new chapter in the village's approach to community development.

自然と人が融合する力 日々進化する村づくり

Power which people unite with nature
Production of a village which evolves every day



村づくりの基本理念

恩納村は風光明媚な自然環境に恵まれ、穏やかな暮らしとともに観光リゾート地として成長、発展してきました。平成24年9月には沖縄科学技術大学院大学が開学し、新たな時代が始まろうとしています。

一方、村内では少子高齢化が進んでおり、子育てや高齢者福祉などの社会保障に、これまでにない課題が予想され、地域で協力した取り組みが求められています。加えて地方分権の進展はこれまで以上に地方自治体の自主性が必要とされ、地域と協働した村づくりが重要となっています。

また、情報技術の発達、情報の国際的同時性をもたらしており、教育や生活、産業などに及ぶ広い範囲での変化に対処していくことが必要です。さらに地球温暖化防止など、地球規模の環境課題があり、それぞれの地域における環境保全やエネルギー資源の活用が求められています。

恩納村では、こうした時代の要請や地域の様々な課題などに対処して、村民一人ひとりが幸せに暮らせるよう、恩納村における総合的および計画的な村づくりに向けての基本理念を次のように掲げます。

Basic Philosophy on Community Development

Onna Village has developed and grown over the years as a site of tourist resorts, but is also known for its tranquil living environment surrounded by scenic nature. In September 2012, the Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University opened, ushering in a new chapter for the village.

At the same time, Onna Village is experiencing an aging population and declining birthrate, which will likely bring about new, unforeseen challenges to its social security system for childcare and senior citizen's welfare. These challenges require support and cooperation from the entire community. Furthermore, Japan's move to decentralize government authority means that municipalities now must be more independent than ever before, which has heightened the importance of community development carried out jointly with local residents and surrounding communities.

Meanwhile, advancements in information technology have brought about the international synchronization of information, which requires that we adapt our approach to education, living and industry. Global environmental issues such as global warming also require each community to carry out environmental protection efforts and utilize energy resources more wisely.

Onna Village has developed the following basic philosophy on comprehensive and systematic community development so that each and every one of its residents can live happily and so that the village can address the many challenges posed by these new times and shape of the community.

優しさと誇り Kindness and Pride

人や社会、自然に優しい村づくり、ふるさとを誇れる村づくり

Onna Village will pursue community development that is people-, society-, and environmentally-friendly and fosters a sense of pride in one's home

人づくりと協働 People-building and Cooperation

子育て、健康づくり、次世代を担う人材育成などの人づくり、協働の村づくり

Onna Village will carry out community development that involves cooperation and helps build people through childcare, healthcare, and next-generation human resource development

交流と活力 Interaction and Dynamism

観光リゾート施設・学術機関の集積を活かした地域交流の推進による活力ある地域発展と、村民が心広く夢を育む村づくり

Onna Village will promote regional interaction using its tourist resort and academic hubs to achieve more dynamic growth and will follow an approach to community development that fosters dreams in the hearts and minds of its residents

共生と持続 Co-existence and Sustainability

生き物目線からの環境整備、観光にかかわる歴史・文化資源の保護と活用、自然環境や地域の暮らしと共生する村づくり

Onna Village will follow through on community development that conserves biodiversity, protects and utilizes historical and cultural resources for tourism, and achieves co-existence with the natural environment and the region



①真栄田岬
ダイビングの人気スポットでもある真栄田岬は東シナ海を一望でき、眼下に広がる海は透明度が高く週末になるとダイバー達で賑わっています。

②青の洞窟
沖縄で一番人気のあるスポットである青の洞窟が青く光るのは、太陽の光が洞窟に差し込み、その光が海底に反射して水面を青く光らせているからです。

③仲泊遺跡
遺跡の跡と運動を兼ねて石畳を登って行くと素晴らしい景色が待っています。石畳道は、小字比屋根原の琉球石灰岩丘陵を越えるために敷設された旧道です。

④谷茶前の浜
恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前(タンチャメー)節」その発祥となった「谷茶前の浜」を一望できる公園となっており、谷茶前節の曲と共にロケーションを堪能できます。

⑤恩納岳
沖縄一の美しさと言われている恩納岳。昔から有名なこの山は、中国や薩摩の人達も知っていました。天気が良い時は、首里からも遠望できます。

⑥万座毛
万座毛は「万人も座する草原」(毛とは草原のこと)琉球王朝時代、尚敬王が「万人を座するに足る」と賞賛したことが名の由来と言われています。

⑦ダイヤモンドビーチ
恩納村にある御菓子御殿の裏手にあるダイヤモンドビーチ。わりとにくい場所にあるので人もほとんどいなくて超穴場的ビーチです。

⑧県民の森
熱田岳の丘陵地帯にある県民の森では、181ヘクタールという広大な自然林の中でテニスや草スキーなどのスポーツやキャンプが楽しめます。

輝く自然 薫る文化 息づく営み
恩納村は「彩り豊かな魅力を発信する村づくり」を目指しています。

沖縄本島の中心を縦に伸びる恩納村の海岸線は、県内屈指のドライブルート。コバルトブルーの空と海、そして茜色に輝くサンセットがこの村のハイライトです。そして、かつての旅人達の足跡や人情味あふれる村民たちが、恩納村の魅力に素敵なスパイスを加えています。



観光業

Tourism Industry

滞在交流型リゾートをめざして

恩納村は、風光明媚な海岸線や豊かな自然環境に恵まれた地域条件を背景に、大型ホテルの立地が進み、その集積は県内でもっとも大きく、沖縄県における観光リゾート地としての地位を確立しています。

近年、修学旅行を中心とした農業体験、韓国プロ野球キャンプ時の野球教室など地域交流が活発化しており、農林水産業地域という恩納村の地域条件や恩納村にしかない歴史、文化資源を生かした滞在交流が推進されています。

また「グリーンツーリズム」など沖縄の自然に触れ合う観光や、高齢社会における「ウェルネス(保養)観光」など、時

代の変化にともなう新たな観光需要に対応する観光サービスの拡充も図られています。

恩納村では今後、自然環境の保全、景観形成を主軸とした「緑の回廊づくり」をはじめ、恩納村の人材、歴史・文化、地域産業の活用と連携、高齢社会に対応するサービス機能の拡充などにより、恩納村ならではの観光・交流の振興を図っていきます。

Onna Village is known as one of the largest tourist resort areas in Okinawa Prefecture. Over the years a number of major hotels have opened there doors here, drawn by the scenic beauty of the coastline and abundant natural surroundings.

In recent years, Onna Village has seen an increase in services to meet the new face of tourism, which includes extended stays, green tourism and wellness tourism, each of which takes advantage of Onna Village's unique history, culture and location as a community of agriculture, forestry and fisheries.

Moving forward, Onna Village will promote tourism and interaction in only ways it can by expanding its environmental protection and scenic development efforts, utilizing human resources, history, culture and local industries, and enhancing services for an aging society.



PGMゴルフリゾート沖縄
カントリーリゾート フチャク コンド・ホテル



ホテルみゆきビーチ
美らオーチャードゴルフ倶楽部



ルネッサンスリゾートオキナワ



サンマリナホテル



リザンシーパークホテル谷茶ベイ



沖縄かりゆしビーチリゾート
オーシャンスパ



希望ヶ丘ペンション村



ホテルムーンビーチ



ホテルモントレ沖縄
スパ&リゾート



ANAインターコンチネンタル
万座ビーチリゾート

琉球王国時代に活躍した女流歌人・
恩納ナビーのような熱い情熱をもって、
恩納村を広く全国へPRします。

●伊波 留依さん (写真左) ●

私は、恩納村で生まれ育ちました。
自然豊かで、人も温かく、そしてなにより
古き良き文化が息づくこの恩納村を、県内
外、海外と広く発信できるよう精一杯ミス
恩納ナビーを務めます。

●具志堅ホサナさん (写真右) ●

私は、生まれも育ちも宜野湾市なのですが、
家族で演奏活動をしており恩納村を訪れる
ことが多々ありました。
ミス恩納ナビーとして、恩納村の自然、食
や地域の豊かさをしっかりと伝えていける
ように務めます。

第3代 ミス恩納ナビー





商工・製造業の振興

Promotion of Commerce,
Industry and Manufacturing

新たな拠点づくり

恩納村の商業店舗は国道58号沿いに立地し、中心地と呼べるまとまった商業地域は少なく、地元の需要に応じた小規模な店舗がほとんどですが、近年、国道58号沿いのリゾートホテル近傍に飲食店や工芸・土産物品店、リゾート服飾店、海洋レクリエーションサービス店、コンビニエンスストアなど、観光客向けの商業・サービス施設の立地が進み、前兼久においては一定の集積がみられるとともに、通過型売買需要に

応えて「おんなの駅 なかゆくい市場」は活況を呈しています。

このような動きのなかで、恩納村では地元の生活需要に対応する商工業サービスの充実と、催し物や店舗の案内など大型ホテルとの連携や総合的ネット情報の発信による商工業の振興をはかるとともに、沖縄科学技術大学院大学、「おんなの駅 なかゆくい広場」周辺での観光・交流・商業拠点づくりを進めています。

In recent years, a number of retail and service facilities for tourists are opening in Onna Village along National Route 58 near the resort hotel area, including restaurants, arts and crafts stores, souvenir shops, resort apparel stores, marine recreation service providers and convenience stores.

Given this trend, Onna Village is working to expand commercial and industrial services for local living and promoting commerce and industry through partnerships with major hotels, which includes events and store marketing, and sharing a wide range of information online. Onna Village is also developing hubs for tourism, exchange and business in the area around OIST and Onna no Eki Nakayukui Ichiba.

恩納サンセット海道

恩納村の国道58号沿いには集落や漁港、大型リゾートホテルなどが立地し、地域の暮らしや産業・経済、文化の重要な骨組みを構成していますが、近年、恩納南バイパス、恩納バイパスの開通によって、交通渋滞は解消されましたが、一方で国道沿いの商業施設の売上が減少する状況になっています。

恩納村では、「恩納サンセット海道」とネーミングして活性化に取り組んでいる商工会と連携し、国道58号の海を望む良好な景観を活かし、沿道景観の整備により人々が誘われるような魅力ある沿道街づくりを進めます。

Onna Sunset Coast Road

The opening of the Onna Minami and Onna bypasses has helped to alleviate traffic congestion in Onna Village, but it has also reduced business at retail stores located along National Route 58.

Onna Village has given National Route 58 the nickname Onna Sunset Coast Road and is working with the local commerce and industry association to revitalize the area by leveraging and developing the beautiful seascapes along the route to draw in more visitors and recapture the road's past glory.





水産業の振興

Fisheries Promotion

育てる、結ぶ、守る

恩納村の漁業はサンゴ礁海域を主な漁場としており、モズクなどの海藻養殖を主力として発展し、第一次産業の一翼を担っています。特にモズク、海ぶどうについてはブランド化に力を入れるとともに、資源管理型漁業の安定継続をめざしています。

また、漁協による販売、加工事業をはじめ、漁業者、加工業者、消費者と協力した新しい物産開発、商工観光と結んだ体験漁業など、他分野と複合した取り組みを強化しています。さらにサンゴ養殖事業などによる生態系の保全、海洋レジャー活動との共存など、海域環境の保全と一体となった「里海づくり」にも取り組んでいます。

The fishing grounds of Onna Village's fishing industry are mainly located in the waters around coral reefs, but mozuku and other forms of seaweed aquaculture have become a major force behind this primary industry. Efforts are being made to cultivate a brand of mozuku and sea grapes, but the ultimate goal of Onna Village is a stable and consistent fisheries industry that manages marine resources responsibly.

Onna Village is also bolstering sales to fisheries cooperatives and processors and implementing joint initiatives with other sectors of the economy, such as the development of new local products and fishing excursion trips. Onna Village also focuses on building a sound ocean by working together to help protect local waters, safeguarding ecosystems through coral reef growing and achieving co-existence with marine leisure activities.



農業の振興

Agriculture Promotion

ブランド化をめざして

農業は風土や暮らしと結びついた産業です。恩納村では小菊を主力とする花卉類、パッションフルーツなど果樹類の実績を踏まえて、近代化施設の整備や生産技術の向上、高齢化に対処した担い手を育てるとともに、主力品目の高品質生産と産地形成、「恩納ブランド」の確立をめざした農業を振興しています。

また、村内では農業従事者が高齢化していることから、「おんなの駅 なかゆくい市場」や一部ホテルへの直売など、高齢者や女性に参加できる地産地消による農業の活性化を図るとともに、観光リゾート地という立地特性を活かした体験農業の提供や、周遊地としての農業

環境の整備など、多面的な農業振興をめざしています。

Agriculture is an industry that is closely linked with local living and local climate. Based on its track record in growing flowers and ornamental plants, and especially chrysanthemums, and tropical fruits, such as passion fruit, Onna Village is moving to develop modern farming facilities, improve production technologies and develop the future leaders of agriculture given the graying nature of local farmers. Onna Village is attempting to establish its own unique Onna Brand agricultural produce by ensuring mainstay products are of the utmost quality and by developing more land for farming.

Because of its graying population of farmers, Onna Village will seek to promote agriculture based on local production for local consumption and led by women and senior citizens. Onna Village has a broad range of agricultural promotion plans that include hands-on farming experiences for visitors and the further development of area farms into travel destinations.





教育・文化

村づくりは人づくり

Education and Culture

幼児教育

恩納村では幼稚園と保育所がそれぞれの良さを活かしながら連携して幼稚園教育の充実を図るとともに、幼稚園教育と学校教育を円滑につなげるため小学校との連携にも取り組んでいます。

障がいを持つ園児の円滑な教育については特別支援員を配置するなど園児へのきめ細かい支援を行っています。

多様な保護者ニーズに対しては、預かり保育を実施しており、引き続き保護者ニーズに応じた預かり保育の充実をめざしています。

Early Childhood Education

Onna Village's kindergartens and public daycare facilities work closely together to enhance the quality of preschool education while also collaborating with elementary schools to facilitate a smooth transition from preschool to school education.

Onna Village assigns special education aids to assist children with disabilities who attend kindergarten or daycare.

Onna Village also offers public daycare services outside normal school hours to help meet the needs of local parents.

学校教育

学校教育では学習支援員の配置や児童生徒の学習レベルにあった学習指導の工夫・改善、教職員の資質向上を図るなど、子どもたちの学力の向上に努めています。

子どもたちが生涯を通じ健康な生活を送るための基礎を培うための食育については、これまでの給食の時間に加え、体育・家庭科・特別活動において「体育・健康に関する指導」の一環として、「食」に関する指導の充実を図っています。

教育環境については、これまで校舎の改築や情報関連機器の充実に取り組んできましたが、今後も継続的に施設の維持管理に取り組むとともに、プールの改築や情報関連機器の更新を行っています。

中学校については平成22年12月に「教育振興審議会」を設置し、統合に関する検討を進めてきました。今後は、審議会の答申を踏まえ、さらに検討を進めていきます。

School Education

Onna Village strives to improve the academic skills of children enrolled at its schools. These efforts include assigning learning aids, improving and innovating school instruction so that it matches students' learning levels, and taking steps to improve the quality of its teachers.

As for dietary education, in addition to school lunch time, students are also taught about food and diet during physical education, home economics, and special activities.

Onna Village is committed to carefully managing its public educational facilities, remodeling swimming pools, and updating IT equipment.

Onna Village has been continually debating the integration of junior high school education after it set up the Education Promotion Council in December 2010.

生涯学習・ スポーツの振興

恩納村では村民が生涯にわたって生き甲斐をもって充実した生活を送れるよう、目的や世代、性別、地域別などに応じた多様な学びやスポーツの機会の提供を通して、地域の実情に応じた各種団体の育成を図っています。また、沖縄科学技術大学院大学などの学術機関との連携を図りながら、英語をはじめ国際的語学力を身につけた幅広い人材育成に取り組んでいます。

さらに、情報センターや赤間総合運動公園の周辺などを整備して生涯学習拠点施設の充実を図り、恩納村らしさを活かした「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりを進めています。

Lifelong Learning and Sports Promotion

Onna Village provides a host of lifelong learning and sports activities through the nurturing of various organizations in order to help its residents live a more fulfilling life.

Onna Village partners with academic institutions to help develop a wide range of human resources that can speak international languages including English.

Onna Village has also developed an environment where any of its residents can learn anywhere at any time by using its Information Center and the area around Akama Sports Park as hubs for lifelong learning facilities.

文化

恩納村には「山田城跡」「国頭方西海道」「万座毛」「恩納ナビ」など、固有の歴史・文化があります。国指定史跡となった「山田城跡」の復元整備をはじめとして、沖縄口、ハーリー、豊年祭などの歴史・文化資源を継承・活用し、身近に触れる機会の提供に取り組むなど、地域学習や観光との連携を深めることで、文化の振興を図るとともに、恩納村を誇りとする人づくりを進めています。

Culture

Onna Village has a unique history and culture all its own, represented by the ruins of Yamada Castle, Kunigamiho Seikaido, Manzamo, and Unna Nabl. Onna Village is committed to passing on, utilizing and providing opportunities for residents to experience firsthand its historical and cultural resources, which include Okinawan language, dragon boat races, the Harvest Festival, as well as the restoration of the Yamada Castle ruins, a nationally-designated historical site. By deepening partnerships between local learning and tourism facilities, Onna Village hopes to promote its culture and foster a sense of pride in the community.





健康・医療・福祉

健やか、イキイキ、安心

Health, Medical Care and Welfare

健康づくりの推進

人々の健康は地域活力の源です。恩納村では村民の健康づくりにつながる各種事業やイベント、運動や食生活に関する情報提供を進めて若い頃から健康に関する運動や食事の知識を身につけさせるとともに、生活習慣病の予防に努め、村民の健康増進を図っています。

Building Better Health

People's health is a source of community vitality. Recognizing this, Onna Village sponsors various projects and events on health and provides information on exercise and diet to teach its residents from an early age about the important role that exercise and diet play in one's health. Onna Village also helps to build better health among its residents by helping to prevent lifestyle-related diseases.

医療・保健制度

恩納村では住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう受診体制の向上を図ることで、健康の維持や疾病の予防・早期発見に取り組んでいます。

さらに、圏内の医療機関の連携のもと、健康の維持や疾病の予防・早期発見に取り組み、救急医療、急性期医療および高度医療の受診体制の確保を推進しています。

Healthcare System

Onna Village strives to improve the quality of its medical exam system to ensure its residents are able to live comfortable, healthy lives with peace of mind. Onna Village has also committed efforts to helping residents maintain their health, prevent illness and detect disease early.

Onna Village also works with local medical institutions to help residents maintain their health, prevent illness and detect disease early and provide access to emergency medicine, acute care and advanced medical services.

地域福祉

恩納村では災害時に支援が必要な村民が安全な場所に避難できるよう、災害時における要援護者の支援体制づくりに取り組んでいます。

また、安定した村民生活が営めるよう、生活保護制度の適正運用を図っていきます。

Community Welfare

Onna Village has developed a system for providing assistance to those in need during a disaster to ensure residents requiring assistance they can evacuate to a safe location.

Onna Village also provides social security benefits to those in need to ensure all residents can live a stable life.

児童福祉・子育て支援

恩納村では新たな保育ニーズへの対応、子育て支援サービスの充実や各種助成制度などの実施により、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めています。また、ひとり親世帯や保護が必要な児童などへの適切な支援を進め、全ての子どもが健やかに育つ環境づくりに取り組んでいます。

Children's Welfare and Childcare Support

Onna Village offers an environment conducive to raising a child with peace of mind thanks to its accommodation of today's daycare needs, extensive childcare support services, and various subsidy programs. Onna Village also provides necessary support to single parent households and to children who need protection or care to ensure that all children in the community are able to grow up healthy and happy.

高齢者福祉

恩納村では健康づくりや介護予防事業などの充実とあわせて、地域で見守る体制づくりに取り組み、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き甲斐を持って自立した生活を送ることができる環境づくりを進めています。

Welfare for Senior Citizens

Onna Village offers an environment where senior citizens can live a safe, fulfilling and independent life in a familiar community through its wide range of healthcare and nursing care prevention programs as well as its neighborhood watch programs.

障がい者福祉

恩納村では様々な悩みを抱えている方々が気軽に相談できる窓口の充実を図るとともに、障がい者が地域で自分らしく自立した生活を営むことができる環境づくりに取り組んでいます。

また、地域には生活に困窮している人や心身にハンディキャップを持つ人々が生活していますが、これらの人々が社会に参加し、地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを進めています。

Welfare for the Physically and Mentally Disabled

Onna Village provides a service desk and hotline for residents facing various challenges to ensure those with physical or mental disabilities can live independently in the community.

Onna Village also offers an environment where those from the community facing hardships or burdened by physical or mental disability can participate in society and live independently in their community.





環境

暮らしを支える礎
The Environment

自然環境・ 景観の保全・育成

恩納村では海と陸を結ぶ生態系に配慮した近自然工法などによる海岸、河川の環境整備に取り組むとともに、赤土流出防止策などと併せて、自然環境の保全に向けた総合的、統一的な整備を進めています。

また、恩納村が有する自然資源・歴史資源を活かした景観の保全・育成を図ることで、うるおいのある村づくりに取り組んでいます。

Protecting and Nurturing the Natural Environment and Scenery

Onna Village strives to develop and manage its coastline and rivers using natural means that are considerate of its interconnected ecosystem on land and in the sea. Onna Village carries out comprehensive and integrated environmental protection efforts that include the prevention of red soil runoff.

土地利用の調和

恩納村では用途用域の果たしてきた役割の周知を図ることで住民の理解をより一層深めるとともに、各種法制度や村独自の条例に基づいた土地利用の調和を図り、自然環境の保全や均衡ある地域の発展をめざしています。

Responsible Land Usage

Onna Village deepens resident understanding of its land use practices by raising awareness about the traditional roles of its land zoning. Onna Village uses land responsibly based on its various laws and its own unique ordinances to achieve harmony between community development and environmental protection.

生活環境の充実

恩納村では道路などの社会資本整備は大きく進みました。村道の維持管理、生活排水処理施設整備の推進、安定的な水供給、身近な公園の整備、村営住宅の適切な維持管理など、きめ細かな社会資本の充実を図ることで、より良い住環境づくりに取り組んでいます。

Enriching Living Environment

Onna Village strives to provide excellent social capital through responsible road maintenance, upkeep of water treatment facilities, stable water supply, community parks, and public housing. These efforts enable Onna Village to build a better living environment for its residents.

衛生環境の充実

恩納村ではゴミ分別の徹底や再資源化の促進、更なるゴミ減量化などにより、資源循環型社会の構築に取り組んでいます。また、適切な斎場の管理運営や墓地整備の促進を図るとともに、不法投棄対策やハブ対策の強化に取り組み、快適で衛生的な生活環境づくりをめざしています。

Excellent Public Hygiene

Onna Village is helping to build a recycling-oriented society by thoroughly sorting waste, promoting recycling, and helping to reduce garbage further. Onna Village also promotes the responsible upkeep of funeral parlors and development of cemeteries, while also cracking down on illegal dumping and protecting residents from pit vipers.





防災

もしもに備える

Disaster Preparedness

恩納村では村民の生命、財産を災害などから守るため、より効果的な消防・救急体制の確立を進めるとともに救命救急技術の向上を図っています。

さらに、村民協働による地域防災体制および防犯体制を強化し、交通事故の発生抑制を図ることで、安心・安全対策の拡充を進めています。

恩納村のほとんどの集落は海辺に面しているため、日頃から津波などの災害に備えることが重要です。津波の高さや土砂崩れ箇所の再点検、安全な避難場所の確保などによる地域防災計画の見直しをはじめ、自主防災組織の設置による防災訓練などにより、災害に強い村づくりに取り組んでいます。

Onna Village is working to establish an effective fire fighting and emergency response system while also improving its critical care technologies.

Onna Village is also strengthening its civic community disaster preparedness system and crime prevention system as well as taking steps to reduce the number of traffic accidents.

Nearly all of Onna Village's communities are located along the coast. Therefore, Onna Village has revised its community disaster preparedness plan by re-inspecting areas of concern in terms of tsunami and landslides and securing safe evacuation sites for residents. Onna Village has also taken steps to strengthen its ability to deal with disasters by holding disaster drills through voluntary disaster preparedness organizations.

交流事業

ひろがる友好親善の輪

Exchange Programs

恩納村では、岡山県吉備中央町(旧加茂川町)・北海道石狩市と教育分野やお互いのイベントを中心に交流を深めています。

岡山県吉備中央町(旧加茂川町)とは、岡山空港開港を機に、沖縄県への花きのフライト出荷が縁となり交流がスタートし、平成10年10月31日には友好交流縁組締結をし、平成16年吉備中央町へ合併後も交流が続いています。

北海道石狩市とは、国体で同じくソフトボール会場となったことが縁で、中学生相互の交流が始まり、平成25年10月21日に友好市町村都市提携を結びました。今後は、教育・産業・経済・文化の交流と友好親善を深めるとともに、同時に交わした災害時における相互応援等に関する協定によって、大きな災害が発生した際の応急対策に協同で取り組みます。

Onna Village concluded a friendship agreement with Kibi Chuo Town (formerly Kamogawa Town) in Okayama Prefecture on October 31, 1998. This agreement has been maintained even after Kamogawa Town was merged into Kibi Chuo Town in 2004. The relationship began when the Okinawa Airport first opened and flowers were shipped to Okinawa Prefecture.

Onna Village concluded a friendship agreement with Ishikari City in Hokkaido Prefecture on October 21, 2013. The relationship began with the mutual exchange of junior high school students after both cities' teams played on the safe softball field during the National Athletic Meet. Moving forward both cities will seek to deepen friendship and foster exchange in the fields of education, industry, business and culture. The two municipalities also concluded a mutual disaster assistance agreement, under which they will work to jointly develop emergency response measures for major disasters.





議会 Village Council

未来を見通す力

主役は一人ひとりの村民。
いつでも村民の声を活かす村づくりにつとめています。

Aspiring to be a village council by the people that leverages resident feedback to help build the community



行政 Government

つながる、広がる、村民との絆

みんなでつくる恩納村。
村民に開かれた行政で21世紀を歩んでいきます。

An open government administration taking new steps in the 21st century to ensure people stand at the heart of Onna Village



議長 仲田 豊



副議長 喜納 正誠



恩納村議会は選挙によって選出された16人の議員で構成され、年4回の定例議会(3月、6月、9月、12月)や臨時議会を通じて予算や決算、条例の審議や陳情など、さまざまな審議を行っています。村議会には「総務財政文教委員会」「経済建設民生委員会」「基地問題対策委員会」「議会広報委員会」の4つの常任委員会がおかれ、それぞれ担当する分野の委員会を中心に提案される議案を専門的に審査し、村政の健全な運営と村の発展のために活発な議会活動を行っています。

The Onna Village Council, comprised of 16 elected members, convenes four times per year (once each in March, June, September and December) as well as for other extraordinary occasions to carry out various deliberations, including on the village's finances and budgets as well as on petitions and ordinances. The Village Council is also comprised of four permanent committees: the General Affairs, Finance and Education Committee, the Business, Construction and Civic Committee, the U.S. Base Countermeasure Committee and the Village Council Public Relations Committee. These committees carry out active discussions on the sound governmental management and development of the village.



村長 長浜 善巳



副村長 外間 毅



教育長 當山 欽也

行財政運営

恩納村は人口約1万人の小さな財政規模ですが、地域住民の絆の強さを生かした住民と行政の役割分担と協働、日進月歩する情報技術を活用した行政運営により、規模は小さいながらも最も進んだ村づくりを進めています。

広域行政の推進

交通・通信の発達により、村域を越えて広がる生活圈、また農村地域とはいえ情報化や都市化にともなうニーズなどに応え、村民に十分な行政サービスを提供するため、消防・救急、医療・福祉などの広域行政を推進しています。

Financial and Administrative Operations

Onna Village is a small municipality with a population of just 10,000 people. Nevertheless, Onna Village is striving to implement the latest, most cutting edge community development initiatives, despite this small size, by splitting administrative roles in a way that leverages the strong relationship the government enjoys with its residents and by taking an approach to public administration that wisely utilizes fast-evolving information technologies.

Promoting a Regional Approach to Public Administration

Onna Village is promoting a regional approach to public administration, which includes fire fighting, emergency medical care, healthcare and welfare, in order to provide sufficient government services to residents and respond to the needs of computerization and urbanization using advancements in transportation and telecommunication, despite Onna Village's rural character and the increasingly borderless type of lifestyles enjoyed by residents.



住民自治

地域づくりと住民自治の主体となっている恩納村の集落では、これまで培ってきた伝統行事、芸能文化を継承するとともに、計画に基づく地域づくり、子育てや老人福祉などの相互扶助、新規転入者の円滑な定住促進など、それぞれの地域実情に応じた住民活動、住民自治の充実に取り組んでいます。

名嘉真

恩納村の最北端で、東は名護市、宜野座村、南は金武町に接しており、国道58号沿いに、名嘉真、伊武部の集落があります。集落の周囲は小高い山々に囲まれ、その傾斜地ではミカンなどが栽培されています。伊武部にはインピーチ、かりゆしビーチホテルがあり、夏場には観光客で賑わいます。

喜瀬武原

恩納村で唯一海に接していない集落です。近年は花卉栽培が盛んに行われ、この地域での花卉栽培の成功が沖縄県下の花卉ブームをもたらしたといわれています。かつては恩納岳を目標にした米軍の実弾射撃訓練が生活道路である県道104号線を封鎖して行われていました。

安富祖

安富祖、熱田の集落からなり、稲作が盛んなところ。県道が開通しない1914年までは山原船の停泊地として賑わっていました。女人禁制の拝所・坊主洞窟や熱田貝塚などの史跡のほか、沖縄宇宙通信所、ユニマツト・美らオーチャードや沖縄ゴルフ倶楽部、ジ・アットテラス・ゴルフリゾートなどのゴルフ場があります。

瀬良垣

国道58号と平行して海岸線に細長く集落が形成されています。後方の傾斜地は恩納岳と連なり、そのほとんどが米軍キャンプハンセンです。伝統芸能が盛んなところで、毎年旧暦8月15日夜には組踊舞踊が催されます。瀬良垣漁港が第1種漁港指定を受けて整備されています。

太田

鹿藩置県後、首里・那覇からの移住者によってつくられた屋取集落で、瀬良垣と恩納の間にあり、1946年に太田区として独立しました。東シナ海に突き出した前喜原の岬は優れた景観を誇り、天然のビーチのほか、大型リゾートホテルの万座ビーチリゾートがあります。

恩納

王府時代に間切番所(役所)が置かれたところで、現在の村役場、郵便局、商工会などがあります。集落北端の万座毛は県内有数の景勝地で、入口近くには王府時代にこの地に生まれた女流歌人・恩納ナビーの碑があります。プロイラー生産や花卉栽培が盛んで、第1種恩納村漁港があります。

南恩納

太田と同じく那覇・首里からの移住者によってつくられた屋取集落です。屋嘉田、赤崎、馬場の集落があり、馬場はかつて競馬場があったことに由来しています。戦前は字恩納に含まれていましたが、昭和19年に分離し、南恩納区となりました。屋嘉田潟原では、アーサやモズクの栽培養殖が盛んです。

Autonomy of Citizens

Onna Village's communities, which are led by community building and the autonomy of citizens, continue to pass down traditional events and performance arts to this very day, while also carrying out planned community development initiatives, providing mutual support for childcare and senior citizen's welfare, and facilitating a smooth, stable and long-lasting life in the village. Each of these communities strives to support citizen activities that are in turn with the local communities and to offer the full autonomy of citizens.

Nakama

Nakama is the northernmost community in Onna Village, and borders Nago City and Ginoma Village to the east and Kin Town to the south. The communities of Nakama and Inbu are located along National Route 58. The community is surrounded by small and high mountains and mandarin oranges are grown on the slopes of these mountains.

Kisenbaru

Kisenbaru is the only community in Onna Village not to border the ocean. In recent years, the community has been a major hub for the cultivation of flowers and ornamental plants. The success of this community is believed to have helped spur on the boom in flowers and ornamental plants on Okinawa.

Afuso

Afuso comprises the communities of Afuso and Atta and is a major center of rice cultivation. The community was a bustling stopover destination for junks in the area until 1914 when the prefectural road had yet to open.

Seragaki

Seragaki is a long and narrow community situated along the coastline and National Route 58. Traditional performing arts are a major draw of this community and kumiodori dance performances take place on the night of August 15 according to the Chinese zodiac.

Ota

After the prefecture was established Ota prospered as the Yadori Villages bedroom community founded by people relocating from Shuri and Naha. Ota, which is situated between Seragaki and Onna Village, was established as Ota Ward in 1946. The community's Cape Maekibaru offers excellent views and it juts out into the East China Sea somewhat.

Onna

Onna was sight of a government office during the Ryukyuan Kingdoms Period and today Onna is site of the current village hall, post office, and chamber of commerce and industry. Manzamo, located at the northernmost tip of the community, offers some of the best views in the entire prefecture. The main of this community include broiler chicken production and flower and plant cultivation.

Minami Onna

Minami Onna is part of the Yadori Villages founded by people relocating from Naha and Shuri. Within this community there are also three others, including Yakata, Akasaki, and Umaba. Yakata and Katabaru. Yakata Katabaru cultivates asa and mozuku.

谷茶

古くからある集落で、軽快なリズムの歌と踊りで有名な沖縄民謡「谷茶前節」は、この集落にある谷茶前の浜での漁を題材にしています。富着との境の丘には「谷茶の丘老人ホーム」があります。旧暦6月25日には盛大な綱引が行われます。

富着

富着の集落は明治末期まで現集落の背後の台地にありました。集落にある天然のビーチは、夏場には海水浴客で賑わいます。サンマリーナホテル、カフーリゾートフチャックコンドホテル、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート、PGMゴルフリゾート沖縄などの観光・レジャー施設があります。

前兼久

地名は富着から見て前方の海岸を前ガニクと呼んでいたことに由来しています。かつては山原船の造船所もありました。海岸の景観が美しく、ムーンビーチホテル、マリンビューパレスなど、多くの観光保養施設があります。

仲泊

首里・那覇と名護、国頭のほぼ中間地点にあたり、旅人がここで一泊したことからその地名がついたといわれています。王府時代には近隣の物産が山原船によって那覇方面に運ばれ、明治43年県道が仲泊まで開通してからは、客馬車の終点、起点として栄えました。国指定史跡の仲泊遺跡があります。

山田

山田と久良波の2つの集落があります。山田集落の東南部の台地には15世紀に活躍した護佐丸の一族の居城といわれている山田グスクがあります。以前はグスクの下に集落がありましたが、戦後、現在の集落ができました。久良波は元々下方の浜辺にありましたが、戦後になって現在の場所へ移動しました。

真栄田

元々は読谷村の境界まで広がっていましたが、昭和24年塩屋と宇加地が分離しました。真栄田岬周辺の海域は沖縄でも有数のダイビングポイントとして知られています。集落周辺では土地改良が進み、一面にサトウキビ畑が広がっています。

塩屋

かつては真栄田の一部でしたが、昭和24年に隣接する美留とともに塩屋区となりました。地名はその昔、製塩業が盛んだったことに由来しています。美留は港として栄え、真栄田、塩屋の産物が運びだされていたほか、西海岸を航海する山原船の避難港でもありました。

宇加地

恩納村の最南端にあり、長浜川を境に読谷村と接しています。戦前までは真栄田の一部でしたが、昭和24年に宇加地、与久田の2集落で宇加地区となりました。地域の憩いの場として宇加地公園が整備され、美しい自然が残る恩納村の南の玄関口となっています。

Tancha

The famous rhythmic Okinawan folk song, "Tancha-meebushi," that has been sung and danced to throughout the village's history was drafted based on the catch at Tanchame beach in this community. Every year on June 25 of the lunar calendar a hug tug of rope tournament is held.

Fuchaku

Fuchaku was initially located on a plateau behind the current community up until the end of the Meiji period. The community's natural beach is bustling with people during the summer months, and the community s widely visited by tourists for its resort hotels, golf courses and other leisure activities.

Maeganeku

The name Maeganeku originates from when locals called the shoreline in front of Fuchaku by the name Maeganiku. The community was once a shipbuilding site that made Yambaru ships. The shoreline here is beautiful and there are many leisure facilities for tourists.

Nakadomari

The name nakadomari refers to the fact that this community almost exactly halfway between (naka) Shuri Castle in Naha and Nago and Kunigami and travelers used to stay here one night (domari). The community is home to the Nakadomari Ruins, which are designated a national historic site.

Yamada

Yamada comprises two communities: Yamada and Kuraha. The ruins of Yamada Castle were located on a plateau to the southeast of Yamada. This castle is believed to have housed Gosamaru and family, who contributed greatly to Okinawa in the 15th century.

Maeda

The waters near Cape Maeda are known for some of the best diving in all of Okinawa. Land improvements have taken place in and around the community and today it is mostly covered in sugar cane fields.

Shioya

Shioya was formerly part of Maeda, but it became Shioya together with the neighboring community of Biru in 1949. The name of the community originates from the fact the area was home to many salt manufacturers in the distant past.

Ukaji

Ukaji is the southernmost community in Onna Village and it borders Yomitan Village along the Nagahama River. Prior to World War II this community was part of Maeda, but it became Ukaji together with the neighboring community of Yokuta in 1949.

村章・村木・村花・村民憲章

Official Village Emblem, Flower, Tree and Charter



村 章

「オンナ」を水平に図案化し円は平和を表し村民の一致団結を意味し、左右に鋭く延長して平和の中にも村の飛躍発展の姿を象徴したものです。沖縄の本土復帰 1 周年を記念して昭和48年5月15日に制定されました。

Village Emblem

The official village emblem features a stylized horizontal rendition of the characters "onna", while the circle symbolizes peace and solidarity among village residents. The sharp and extended shape from left to right indicates that dramatic growth of the village took place within a state of peace. This emblem was created on May 15, 1973 in commemoration of the one year anniversary of the reversion of Okinawa to Japan.



村木 フクギ

フクギ(福木)オトギリソウ科
常緑色の木で、大地にどっしりと根を張り、平和と無限の繁栄を表します。

Village Tree: Fukugi (Happiness Tree)

Garcinia subelliptica
The fukugi, or happiness tree, is an evergreen that firmly plants its roots in the ground, symbolizing peace and limitless prosperity.



村花 ユウナ

ユウナ(右納)アオイ科
黄色の花で和やかな香りは、平和と純真を表します。

Village Flower: Sea Hibiscus

Hibiscus tiliaceus
The Sea Hibiscus' yellow flowers and calming fragrance symbolize peace and innocence.



恩納村民憲章 青と緑の豊かな活力ある村

私たちは、天然の美を誇る恩納村民であることに生きがいと責任を持ち、平和で明るく豊かな美しい村を築くために、みんなが力を合わせて実践する道しるべとして、ここに村民憲章を定めます。

< 私たちは >

- 一、自然を愛し、自ら美しい村をつくります。
 - ①花・みどりを大切に育てる村民
 - ②生きものを大切にする村民
 - ③身のまわりや村を清潔にする村民
- 一、人間を尊び、愛情豊かな村をつくります。
 - ①あいさつを交しあう村民
 - ②温かい心で交わる村民
 - ③敬老心のある村民
- 一、きまりを守り、明るく村をつくります。
 - ①時間を守る村民
 - ②他人に迷惑をかけない村民
 - ③公共物を大切にする村民
- 一、伸びゆく力を育て、活力ある村をつくります。
 - ①青少年に一声かけあう村民
 - ②積極性のある村民
 - ③教育を身につける村民
- 一、心と体をきたえ、健康な村をつくります。
 - ①スポーツに親しむ村民
 - ②家庭を楽しむ村民
 - ③働く喜びをもつ村民

Onna Village Charter

A Dynamic Community Symbolized by the Blue and Green of its Nature

We, the citizens of Onna Village, take pride and responsibility in our village full of nature's bounty and shall aim to carry out the following charter to create a peaceful and vibrant community.

< We pledge >

1. Love nature and make efforts to create a beautiful community
 - ①Citizens that carefully nurture flowers and greenery
 - ②Citizens that value life
 - ③Citizens that are hygienic and keep the community clean
1. We will respect people and build a community that accepts all
 - ①Citizens that greet one another
 - ②Citizens that treat each other with warmth and compassion
 - ③Citizens that respect their elders
1. Will protect local customs and build a vibrant community
 - ①Citizens that value time
 - ②Citizens that do not cause a nuisance to others
 - ③Citizens that take care of public property and facilities
1. Will nurture the ability to grow and build a dynamic community
 - ①Citizens that encourage to youth
 - ②Citizens that are proactive
 - ③Citizens that are educated
1. Will develop our minds and bodies and create a healthy community
 - ①Citizens that enjoy sports
 - ②Citizens that enjoy their family
 - ③Citizens that enjoy their work

(昭63年 4 月 1 日制定)

(Enacted April 1, 1988)